

き り ゅ う

2025年(令和7年)6月1日(日曜日)発行

鈴鹿市議会議員

桐生 つねあき

鈴鹿市議会レポート Volume 7

所属 このはな保育園 施設長 / 一般社団法人鈴鹿青年会議所 / 鈴鹿商工会議所青年部

経歴 平成4年生まれ

平成16年3月 鈴鹿市立旭が丘小学校卒業

平成22年3月 鈴鹿中学高等学校卒業

平成28年3月 明治大学政治経済学部卒業

平成28年4月 衆議院議員島田佳和事務所 入所

平成31年4月 鈴鹿市議会議員選挙 初当選

令和3年5月 鈴鹿市監査委員 就任

令和5年4月 鈴鹿市議会議員選挙 2期目当選

令和5年5月 鈴鹿亀山地区広域連合議会 議長 就任

令和6年5月 鈴鹿市議会第81代副議長 就任

鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会 委員長 就任



令和7年度
当初予算

一般会計総額

770億5,000万円

前年度比

(3.5%) 増

約25億8,000万円



賛成しました。

教育情報化推進費

約2億9,000万円

GIGAスクール構想等で小中学校に導入した端末(ノートパソコン)の更新を行いICTを活用した教育環境を整えます。

部活動地域移行推進費

約1,500万円

休日の学校部活動の地域移行に係るモデル事業活動数を14に拡大します。

子ども医療費

約9億9,500万円

子ども医療費助成の対象年齢を現在の15歳から18歳まで拡充し、子育て世代の負担軽減につなげます。

消防通信施設整備費

約8億9,000万円

津市、亀山市と鈴鹿市で令和8年度から消防通信指令業務を行動で実施するにあたり、消防指令センターを3市共同で整備します。

東京事務所運営費

約1,400万円

東京事務所を設置し、首都圏において国や関係団体などからの情報収集や魅力発信、民間企業との連携などをおこないます。

活動内容について



白子地区自治会連合会総会にてご挨拶



駅や交差点などでのご挨拶



鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会にて四条畷市へ行政視察



鈴鹿市消防団の年末夜警にて

子ども議会・議会報告会について

① 子ども議会

次世代の有権者との意見交換などにも参加しています。子ども議会では、小中学生の子ども議員に皆さんから、行政に対して質問や提言が行われました。議会を代表して参加いたしましたが、若年層の意見を聞くことができ勉強になりました。



▲ 子ども議会

② 議会報告会

今年の議会報告会は、主に地元の大学生を対象として、ワークショップ（意見交換会）形式で開催しました。地域づくりや子育て施策など若者世代から活発で多様な意見をいただくことができました。



▲ 議会報告会での様子

副議長を終えて

「この経験を活かして、さらに地域のために力を注いでいきます。」

令和6年5月から1年間、鈴鹿市議会の副議長を務めました。議員の方々はもちろんのこと、市長を始めとする行政の方々と様々な議論を行うことができました。議会に上程される議案を議長と共に最初に精査をすることができたほか、市内の様々な事案に関して報告を受けることができ、大きな学びとなりました。一議員に戻りましたが、この経験を活かして、さらに地域のために力を注げるよう、努力してまいります。



委員長を終えて

① 鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会

介護保険事業や消費者行政（消費生活センター）は、鈴鹿市と亀山市が合同で実施しています。これらの事業は「鈴鹿亀山地区広域連合」という両市とは別の特別地方公共団体が実施主体となっており、「広域連合議会」での審議も必要となっています。設置から25年以上が経ち、社会情勢も変化している中、このまま広域連合での事業実施を行うべきか、広域連合を解散し鈴鹿市、亀山市それぞれが実施主体となるべきかなどを調査研究しました。

調査を進める中で、広域連合は事務が煩雑で市独自の判断ができないこと、介護保険データを活用した地域支援事業が推進できないこと、2市の負担のバランスを取るのが困難であること、などの意見が出されました。委員会としては、広域連合は、早急に解散も含めた抜本的な見直しが必要との結論に達し、市長に対して報告書として提言をいたしました。



編集・発行責任者

桐生つねあき後援会事務所

住所：〒510-0213 三重県鈴鹿市南旭が丘三丁目8番8号
TEL：059-386-3455

桐生つねあき
市議会議員
Webサイト



facebook

日々活動内容を更新しています
いいね！お待ちしております♡



後援会入会フォーム

ご賛同・応援いただける方は
こちらから是非登録ください。

